

山形県企業局経営戦略(案)の概要

平成30年2月
企業局

企業局の事業

- 電気事業**
 - ・水力発電所(14ヶ所)
 - ・太陽光発電所(1ヶ所)
- 水道用水供給事業**
 - ・広域水道4地域(県内23市町)
- 工業用水道事業**
 - ・3地域(酒田、八幡原、福田)
- 公営企業資産運用事業**
 - ・県営駐車場
 - ・県民ゴルフ場
 - ・緑町会館等

策定の趣旨

企業局が将来に渡って安定的に事業を継続していくための中期的な基本計画

- ・4事業の現状分析と課題の抽出
- ・課題解決のための取組方針の設定
- ・今後10年間の投資・財政計画の作成

◇計画期間
平成30年度～平成39年度(10年間)

取り巻く情勢と課題

- 少子高齢化を伴う人口減少
→利用者の減少等に対応した経営健全化
- 施設の老朽化と更新投資の増大
→昭和30年代建設の発電所の更新対応等
- 災害及び危機管理対策強化の必要性
→地震・集中豪雨、事故への対応等
- 地球温暖化対策とエネルギーを巡る情勢の変化
→再エネの推進、電力制度改革への対応等
- 市町村との連携・官民連携
→共同事業やアウトソーシングの推進

各事業の財政見通し

経営健全化の取組みを推進することにより
計画期間中、4事業とも黒字を確保

電気事業

- ・H31、32の発電所リニューアル等で投資が増大
- ・計画期間を通して損益収支は10億円以上の黒字で推移
- ・将来の更新需要に備えて内部留保資金を確保

水道用水供給事業

- ・H30～34の耐震化工事や設備工事で投資が増大
- ・計画期間を通して損益収支は黒字を確保

工業用水道事業

- ・H35～H38にかけて管路更新等で投資が増大
- ・計画期間を通して損益収支は黒字を確保

公営企業資産運用事業

- ・H32～H37にかけて設備更新工事で投資が増大
- ・計画期間を通して損益収支は黒字を確保

経営の基本方針

各事業の主な取組み

1 安定したサービスの供給能力の向上

◎耐震化・強靱化を図る施設整備

【電気】発電所の建替による耐震化(朝日川第一発電所、倉沢発電所)
 【電気】老朽化した送電設備の建替(寿岡、蘇岡、朝日川の各連絡送電線)
 【水道・工水】管路の耐震化(置賜広域水道・村山広域水道送水管、酒田工業用水道圧送管)
 【各事業】老朽化した施設設備の更新(浄水場の電気設備・計装設備、木川ダム主ゲート等)

◎危機管理・施設保守管理の強化

【電気】定期的な点検の強化(点検におけるICT、ドローン等の新技術活用) [新規]
 【水道・工水】緊急時に備えた施設強化(浄水場の緊急排水施設や設備二重化によるバックアップ機能の整備) [拡充]
 【水道】災害発生を想定した訓練等の実施(受水市町と連携した応急給水、災害時の効果的な情報伝達)
 【各事業】事故等の防止、緊急時の迅速な対応力の向上(施設点検及び事故発生時の初動対応等のマニュアル改善)

◎職員のスキルアップと人材育成

【全体】技術の継承・向上を図るための人材育成(技術発表会の開催、効果的な研修体系の構築、資格取得の支援等)

2 事業環境の変化を見据えた経営基盤の強化

◎再生可能エネルギーによる発電の拡大

【電気】既設水力発電所のリニューアルの推進(施設更新等による出力増加、前倒しによるFITの活用) [拡充]
 【電気】中小水力発電の開発推進(砂防ダム、農業用水路等の既存水源の有効活用等) [拡充]
 【電気】風力発電等の開発拡大(県営風力発電事業の着実な推進、内陸風力、太陽光その他の新規電源開発の可能性の検討) [拡充]

◎更新費用の縮減と効率的な運営

【各事業】施設の長寿命化(適切な保守管理による精度の高い老朽度把握及び修繕)
 【各事業】効率的な施設整備(施設の老朽度や重要度を考慮した更新優先順位の設定、費用の平準化)
 【水道・工水】中長期的な視点に立った施設整備(水道施設のダウンサイジング、採算性を踏まえた工業用水道の施設整備) [新規]

◎安定収入の確保

【電気】電力制度改革への対応(電力自由化を踏まえた適切な売電先及び売電方法の選定)
 【工水】新規ユーザーの開拓と適正な料金設定(利用促進のインセンティブ検討、将来の更新投資を見据えた料金設定) [拡充]
 【資産】健全経営の確保に向けたサービス提供と料金設定(県営駐車場の営業時間延長、県民ゴルフ場の適正な利用料金設定等)

◎官民連携の推進

【水道】施設管理の効率化(費用縮減につながる業務の共同化、包括的な業務委託の検討) [拡充]

3 地域への貢献

◎市町村への支援と連携

【電気】市町村等の再エネ開発支援(計画時や施工時の技術支援、土地改良区との共同事業モデルの検討) [拡充]
 【水道】事業運営・技術支援(事業運営に係る相談窓口の設置、市町村職員を対象とした「水道経営スクール」の開催) [拡充]
 【水道】効率的な経営を目指した広域化・広域連携
 (4地域における市町村との勉強会の開催、広域化等に向けた具体的シミュレーションによる検討) [拡充]

◎産業振興・地域振興への貢献

【電気】電力会社と連携した安価な電力供給(「やまがた希望創造パワー」事業による県内産業振興への貢献)
 【全体】県の施策等を通じた地域貢献(山形交響楽団及びモンテディオ山形の支援、一般会計への繰出し等)

◎県民への情報発信

【全体】総合的かつ効果的な情報発信
 (県民理解を深めるための施設見学・イベント等の開催、多様な情報ツールの効果的活用による戦略的広報の検討)